

行ってみんなね、来てみんなね⑦6

日本で唯一の熱帯感染症に特化したミュージアム

長崎大学熱帯医学ミュージアム

館長 奥村 順子



長崎大学熱帯医学研究所は、熱帯感染症とこれに伴う健康問題を克服することを目指し、関連機関と協力して研究とその成果による国際貢献、さらにはそこに関わる研究者と専門家の育成を行っています。熱帯医学ミュージアムは、19

74年に同研究所に設置された熱帯医学資料室を前身とするものです。幾度かの移設や改修を経て2014年4月、旧原研2号館の1階部分（長崎大学医学部医学ミュージアム内）に場所を移し、熱帯医学ミュージアムとしてリニューアルオープンし現在に至っています。

概説パネル、顕微鏡病態映像、モニターの動画、病原体媒介動物の標本や模型などを用い、それぞれについて詳しく解説しています。視聴覚コーナーでは、80インチの大画面で、吸血中の蚊の様子などを見ることが出来ます。収集された資料は数千点におよびます。また、高度安全実験（BSL-4）施設の模型や、そこで使用される防護服を展示し、BSL-4施設に関する理解の醸成に努めています。

日本国内のみならず、海外からの来場者も多いため、英文のパネル解説をタブレットに導入し要望があれば貸出しして対応しています。

【料金】無料
【アクセス】長崎バス「医学部前」バス停下車徒歩1分
【駐車場】無し
【その他】障害者用トイレおよび車いす用スロープあり

